

がんばったメッセージ2

市中体後の「がんばったメッセージ」の第2弾です。全力を尽くして戦い抜いた、各部のそれぞれの思いをお伝えします。（敬称略・ほぼ原文通り）

女子ソフトテニス部（主将：田中 さくら）

私たち女子ソフトテニス部は、1日目の団体戦は負けてしまいました。2日目の個人戦では、3年生は全員1回戦を勝つことができました。悔いなく試合ができたのでよかったと思いました。2年生や1年生は、来年に向けて頑張してほしいです。そして、吉井中学校の伝統を受け継いでほしいと思います

男子ソフトテニス部（主将：前岳 伸孝）

僕たち3年生は、中学生最後の市中体で団体戦3位入賞という成果を上げ、中学校3年間の集大成を皆に見せつけることができました。市中体が終わり、3年生は受験へ、1・2年生は新しい体制で部活動が始まります。大きな行事が1つ終わったからと言って気を抜かず、次の大会へ向けて一生懸命頑張ってください。

柔道部（主将：吉田 壮汰）

市中体では団体戦とそれぞれ個人戦に出場する予定でしたが、直前の練習で部員の1人がけがをしてしまったため、出場可能な人数ギリギリだった僕たちは、残念ながら団体戦に出ることが出来ませんでした。その悔しい思いも全て個人戦にぶつけようと頑張り、個人戦では、第2位の成績を残すことができました。市中体後、一緒に頑張ってきた部員の1人が転校することになり、今後は男子2人の部になってしまいますが、これからもきつい練習を乗り越えて頑張っていきたいと思います。（部員も募集しています！）

軟式野球部（主将：中川 丞太郎）

東北での大雨、熊本の大雨、新型コロナウイルスの大感染などといった日本中、世界中が大混乱の中、試合を行えたことはとても幸せなんだなあと感じました。保護者の方々や県北の野球連盟の方々、相手チームの選手や保護者の方々、バスの運転手の方など、多くの人に支えてもらいました。あと少し野球ができるチャンスがあるので、全力でプレーして恩返しをしたいです。

※市中体での軟式野球競技は、期間中の試合消化ができずベスト8まで決定したところで打ち切りとなりました。その後、軟式野球連盟主催の大会が開催され、準々決勝・準決勝・決勝が行われ、本校軟式野球部は第3位に輝きました。見事な戦いぶりでした。今回ベスト4に残ったチームは、ビッグN球場で開催される長崎県下選手権大会へ出場する予定となっていました。新型コロナウイルスの感染拡大が深刻となったため、佐世保市内の4校はすべて出場を自粛（辞退）いたしました。軟式野球部の皆さん、保護者・応援して下さる皆様に本当に申し訳ない思いでいっぱい입니다。ご理解いただき本当にありがとうございます。

ついに「いいね！」が始動

4月から進めてきた「よっ！いいね！吉井中」が、生徒会の活動の1つとなりました。生活部を中心に、各クラスの「いいね！」を集めて、廊下に掲示するという取組です。下の写真にも示しているように、たくさんの「いいね！」が集まりました。どれをとっても心がほっこりするような内容ばかりで、温かい気持ちになります。それ以上に、生徒の皆さん一人一人が、仲間のよさや頑張りをいつも見ていること、認めていることを嬉しく思っています。相手のよさや頑張り素直に認め、感謝の思いをもつことができる人は本当に立派な人です。これからの「いいね！」も楽しみです。



心がほっこりする「いいね！」を紹介します。氏名はイニシャルです。男女とも「さん」で表記。

- Hさん(1-1)分からない時や困っている時に教えてくれました。
- Yさん(1-2)トイレ掃除の時、掃除が上手でとても頑張っていたのでいいなと思いました。
- Yさん(2-1)係の仕事を1日も休まず頑張っていたから。
- Rさん(2-2)あいさつ運動日に生活部ではないのにボランティアで活動してくれた。
- Kさん(3-1)黒板消しを忘れていた時に、消してくれていた。
- Yさん(3-2)トイレのスリッパを並べていた。



